

こくたか 連携だより

2019年発行
第155号
12月号

高崎総合医療センター
第15回 登録医大会 2
地域医療支援・連携センター長 佐藤 正通

市民健康医学講座
急げ！脳卒中は最初が大事！ 3
脳神経外科医長 佐藤 晃之

がん診療連携拠点病院機能強化事業
第24回 市民公開講座 4
臨床研究部長 鯉淵 幸生

がん地域連携クリニカルパス 5

看護学校「決意式」 6
48期生 小林 珠梨

臨床検査科だより 7
栄養だより 8～9
医師紹介コーナー 10
地域医療連携登録医のご紹介 11
セカンドオピニオンのご案内 12～13
外来診療担当表 14～15
院長室だより/行事などのお知らせ 16



セイヨウヒイラギ
(観賞期：11月～1月)

.. 花言葉 ..

「予見」「神を信じます」



●地域医療支援病院 ●がん診療連携拠点病院

独立行政法人国立病院機構
高崎総合医療センター



〒370-0829 群馬県高崎市高松町36
代表 (TEL) 027-322-5901
URL <http://www.tnho.jp/>
地域医療支援・連携センター(医療機関専用ダイヤル)
(TEL) 027-322-5835
(FAX) 027-322-5925

【理念】

患者さんから信頼される病院を目指します

【基本方針】

- 常に患者さん本位の医療を心がけます
- 研鑽に励み、安全で良質な医療を提供します
- 医療連携を積極的に推進し、地域医療に貢献します
- 良き医療従事者の育成に努めます
- 臨床研究を推進します
- 健全な病院経営を行います

【看護の理念】

人間の尊厳を大切にし、専門的な知識、技術を持ち、心のこもった看護を提供します

【患者さんの権利を守ります】

- 誰でも良質で安全な医療を受ける権利があります
- 患者さんの人格や価値観が尊重され、医療提供者との相互協力のもとで医療を受ける権利があります
- 病気、治療等について、十分な説明を受ける権利があります
- 他の医師の意見（セカンドオピニオン）を求める権利があります
- 病気等について十分な説明を受けたうえで、自分の意志で検査や治療方法を選択したり、他の医療機関を選択する権利があります
- 医療情報に関する個人のプライバシーが守られる権利があります

第15回

高崎総合医療センター 登録医大会



地域医療支援・連携センター

センター長 佐藤 正通

2019年11月13日、高崎総合医療センター第15回登録医大会を、医科・歯科総勢273名におよぶ先生方をお迎えして開催させて頂きました。日々のご診療で多忙を極める先生方におかれましては、当センターの登録医大会にご参集頂き、誠にありがとうございました。かくも盛大に地域でご活躍されている先生方と当センターの医師の親睦の場として、また登録医大会にご参加された全ての医師にとって、よりよい情報交換、意見交換の場としてご利用頂き、大変うれしく感じている次第でございます。

15回目となります登録医大会では、高崎総合医療センターから、整形外科、そして総合診療科・内科より診療実績報告がなされました。整形外科にあっては今年度より常勤医師が8名となり、現在までの一般整形外科診療、脊椎および肩周囲病変や外傷に加え、腫瘍、膝を専門とする医師の増員により、さらに診療提供体制が充実致しました。(超)高齢社会である日本、群馬県、そして高崎地域におきましても同診療科へのニーズは非常に高く、高崎地域における今後の診療展開が期待されております。創設15年目を迎えます総合診療科・内科におきましても今年2名の増員がかない、地域医療を担うGeneralistから、より早く、多様な診療ニーズに応えられる体制が整ってきております。同科におきましては開設当初から、地域医療支援病院に在籍するHospitalistとして、地域でご活躍されている先生方とのアクセス(紹介や急な診療要請)を担う事を目的とし、また、地域にお

ける死角のない診療提供を目指して日々診療を重ねて参りました。これからもどうぞ宜しくお願い申し上げます。例年のことではございますが、医療センターにおける連携実績を報告させて頂いた際、現在日本の保険診療モデルとされている「地域内診療役割の明示に基づく医療連携の深化」そして「地域完結型医療」の提言に加え、多職種チーム医療を基盤とした全人的医療について、ごく簡単ではございますがお話しをさせて頂きました。医療を必要とする人々が安心して安全に診療を受けられる地域社会の建設に向けて、我々は医療安全への認識と取り組みを、連携する医療機関双方で共有していかなければなりません。医療を受けられる人と全医療者が価値(患者利益)を共有し、共感できる診療を、地域全体を以って社会に提示していけるよう高崎総合医療センターは登録医の先生方、そして地域に暮らす人々と共に取り組んで参ります。東京オリンピックとほぼ時を同じくして、満を持して2020年3月に高崎総合医療センター新病棟は運営を開始致します。次世代を担う同病棟が新しい地域医療を実践する医療者のプロフェッショナリズムのシンボルとなれるよう、これからも皆様方と歩んで参ります。



脳神経外科医長 佐藤 晃之



急げ！ 脳卒中は最初が大事！

去る2019年10月16日、「急げ！脳卒中は最初が大事！」の題名で、脳卒中における最近のトピックである脳梗塞に対する急性期血行再建を中心にお話をさせていただきました。講演終了後にいくつもお質問をいただき、活発な議論ができたことは大変良かったです。

脳梗塞を含めた脳卒中の多くは、脳の機能障害を起こします。今まで長年続いている治療法は、①病気の悪化を防ぎ、これ以上身体機能などが悪化するのを防ぐ、②リハビリテーションを行い機能回復を図る、の2本柱でした。要するに、脳卒中で起きた機能障害を劇的に回復させる手段を持ち合わせていなかったのです。そこへ新たに“tPA静注療法”、“機械的血栓回収”という劇的に機能を回復させる治療法が導入され、新たな時代の幕開けとなりました。今後、これらの治療法がさらに改良され、より多くの患者さんが利益を得られるようにしたい、というのが我々医療従事者の願いです。また、今回触れませんでした、最近のトピックとして神経再生も挙げられます。iPS細胞を始めとした幹細胞を使って、様々な組織の修復が将来できるようになることが期待されます。

従来からある治療法や、今回紹介させていただいたような新しい治療法など、いずれの治療法も患者さん、ご家族、医療従事者が同じ方向を向いた「チーム」として進めていくことが大変重要になります。ラグビーワールドカップで日本チームが見せてくれた、“One Team”の精神がどれほどチームを強固にしたか、皆さんも目の当たりにされたのではないのでしょうか。私たちは“One Team”として、病気という強大な相手に立ち向かっていく必要があります。その中で、新たな武器として様々な治療の選択肢が増えることは、非常に重要であり希望になります。我々医療従事者は、それらの治療から得られる利益を患者さんに最大限還元できるように日々努力を続けています。チーム一丸となり、目の前の相手を克服していきましょう。

第24回

がん診療連携拠点病院機能強化事業 市民公開講座

- 2019年11月4日（祝・月）
- 高崎市総合福祉センター たまごホール



臨床研究部長（乳腺内分泌外科部長）

鯉淵 幸生

恒例の「がんの市民公開講座」、「ゲノム医療時代のがん診療」をテーマとして開催しました。講演者は、埼玉医科大学国際医療センター 呼吸器内科教授 解良恭一先生、乳腺内分泌外科部長 鯉淵幸生、そして消化器内科部長 長沼 篤先生の3名でした。

まず、解良先生の、「がんのゲノム医療とは？肺がんにおける現状」から始まりました。ゲノムというわかりづらい言葉ですが、解良先生の講演はゲノムとはgene（遺伝子）とchromosome（染色体）を合わせたgenomeという造語であり、日本語訳はないという解説から始まりました。がん細胞は人と同じくそれぞれに個性があり、その個性を潰すことで細胞が生きられなくなるような薬物療法が正常細胞を傷害しない分子標的治療であること、肺がんで亡くなる方は非常に多いが、一人一人のがんの個性を探す個別化・分子標的治療を行っていくことで予後がすこしずつ改善していることをわかりやすく説明してくださいました。

続いて鯉淵は、乳がんではコンパニオン診断が手術前から行われ、エストロゲン受容体（ER）の陽性陰性とHER2の過剰発現の有無で4つサブタイプに分類されて、ER陽性では内分泌療法、

HER2陽性では抗HER2療法が有効で予後改善に寄与している事を解説しました。また、これまで治療ターゲットがなかったER陰性HER2陰性のトリプルネガティブ乳がんにおいてもPD-L1というターゲットが出現し、PD-L1陽性の患者さんには抗PD-L1抗体の免疫チェックポイント阻害剤が今後使用できるようになるなど、新薬が続々誕生している事を紹介しました。

最後に長沼先生が、消化器がんについて、胃がん大腸がん肝がん胆道がんで行われているがん遺伝子検査とそれに対する分子標的薬を紹介され、それぞれの症例と治療効果をわかりやすく解説してくださいました。また、消化器がんでの免疫チェックポイント阻害剤使用のために必要なMSI highの説明と、実際に陽性だった患者さんの事例を紹介してくださいました。最後に、現在建設中の新病棟の紹介と、移転拡張する外来化学療法のための通院治療センターの紹介で講演を締めくくられました。

次年度も同じ時期に市民公開講座を開催する予定です。ご興味とお時間のある方は是非ご参加ください。



がん地域連携クリニカルパス

(がん地域連携パス)

をご存知ですか？

がん地域連携クリニカルパス(がん地域連携パス)とは、患者さんの病気にあわせて**治療に関する連携計画書**のことです。当センターのようながん診療連携拠点病院の**専門医**と地域の連携医療機関の**かかりつけ医**の2人が主治医になり、がん地域連携パスを用いて、連携しながらあなたの診療を行います。

がん診療連携拠点病院(専門医)

高崎総合 医療センター



- 手術
- 化学療法
- 放射線治療
- CT/MRI/内視鏡 など
- 緊急時の対応

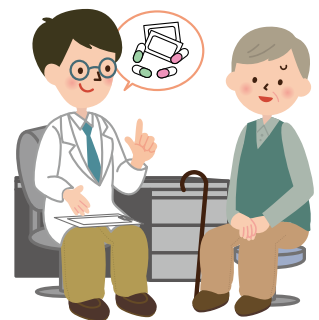
※ 節目に受診

がん地域連携パス手帳
(患者さんのカルテ)



地域の連携医療機関

かかりつけ医



- 日常生活の管理
- 定期的な受診
- 採血 ●投薬
- 異常の早期発見

がん地域連携パスで
つながっています



がん地域連携パス手帳
(患者さんのカルテ)

薬局



群馬県内のがん診療連携拠点病院では、地域の連携医療機関と協力して「がん地域連携パス」を活用し患者さんにわかりやすく安全で質の高い医療を提供します。

看護学校 決意式

48期生 小林 珠梨

私達48期生は、11月1日に決意式を行いました。「決意式」とは、看護学生一人一人が看護の道を志す意思を固め、どのような看護師になりたいかなど、改めて自分自身を見つめ直す機会となる式典です。本校では、学内での講義や演習、技術練習を積み重ね、基礎看護学実習Ⅱを終え、本格的な専門分野の看護学実習を控えた2年次後期に行っています。この日に向けて、決意式実行委員会を中心に4月頃から準備を始めました。

私達の決意式は、「誓いの言葉」の唱和を行う式典と「私たちの大切にしたい看護」について発表を行う二部構成にしました。式典では、フローレンス・ナイチンゲールのキャンドルの灯火を受け継ぐ「聖火継承」の後、「誓いの言葉」の唱和を行いました。一人一人が看護の道を志す者としての意思と大切にしたいことを挙げ、多くの時間をかけて誓いの言葉を考えました。「患者さんの尊厳と権利を尊重できるように誠実な態度と謙虚な気持ちで患者さんと向き合うこと」「信頼関係を築き、強みを最大限に生かした個別性のある看護を实践すること」「自分の援助に責任をもち、根拠に基づいた知識と技術を身に付けること」「感謝の気持ちをもち、ともに学ぶ仲間と支え合っていくこと」の5つ

を誓いました。48期生全員で声を揃えて唱和できた時、私自身とても感動しました。看護の道を歩んでいくことへの責任を感じ、同じ目標をもつ仲間としての意識をより強めることが出来たと思います。これからの実習や学習で思い悩んだ時には、この日の決意を思い出して頑張っていこうと思います。

第二部では「私たちの大切にしたい看護」というテーマで、基礎看護学実習Ⅱで学んだことをグループごとにまとめて発表を行い、会場設営や司会などの運営も48期生が担当し、自分達が主体となって行いました。個別性を大切にする看護や患者さんの強みを生かした看護などの発表があり、新たな学びになることも多く、今後の実習へ繋がる内容となっていました。3年生や1年生、先生や講師の方からも質問やアドバイスを頂き、より自己の看護観を深めることができました。

ナイチンゲールの灯火で看護の心を受け継ぎ、決意を新たにした今、私たちは看護師になりたいという想いを強めたと同時に、看護師を目指すものとしての責任をより一層感じています。48期生全員で誓った言葉を胸に、これからの学習や実習に真摯に取り組んでいきたいと思っています。

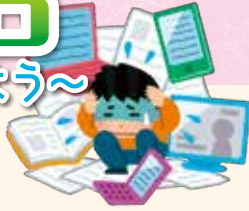


血液検査の結果は、異常が無くても個体間変動、個体内変動などによる生理的要因で、測定値が変動します。個体間変動としては性別、年齢、生活習慣、人種などがあり、個体内変動としては食事、運動、体位、採血時間帯などの要因があります。この他に測定における機器や試薬、検体の保管などの技術的要因も関わってきます。これらの変動要因をなるべく小さくするための努力が必要となります。理想的なのは早朝、安静、空腹時に採血し、速やかに検査を進めるのが良いと言われています。また、尿検査においても日常生活（食事、飲水量、運動など）で検査値が変動するため、早朝第一尿が検査には最適とされています。今回は技術的な要因以外の生理学的変動要因について表にまとめてみました。検査データを正しく理解するには、さまざまな生理的変動があることを知っておくことも必要です。



表 検査値の生理的変動

変動種類	変動要因	結果	変動検査項目
個体間変動	性 別	男>女	ヘモグロビン、ヘマトクリット、赤血球、尿素窒素、クレアチニン、尿酸、CK、中性脂肪、血清鉄、γ-GTP
		女>男	赤沈、LH、FSH、HDL-C
	年 齢	幼児>成人	コリンエステラーゼ、AST、ALT、LDH、γ-GTP、無機リン、ビリルビン、白血球リンパ球比率(末梢血)
		小児<成人	総蛋白、アルブミン、免疫グロブリン、アミラーゼ、総コレステロール、尿素窒素、カルシウム、白血球
		思春期高値	アルカリフォスファターゼ
		閉経後高値	総コレステロール、中性脂肪、アルカリフォスファターゼ
	生活習慣 生活環境	高脂肪食	総コレステロール、LDL-C、中性脂肪
		高蛋白食	尿素窒素、アルブミン、アミノ酸
		飲酒(高値)	γ-GTP、中性脂肪、AST、ALT、尿酸
		喫煙(高値)	白血球、CRP、フィブリノゲン、CEA
		喫煙(低値)	HDL-C
		高地居住(高値)	ヘモグロビン
	そ の 他	上昇や低下	人種差、遺伝的個体差、職業など
個体内変動	食 事	食後>空腹時	血糖、インスリン、中性脂肪、胆汁酸、血清鉄
		空腹時>食後	遊離脂肪酸、無機リン
	運 動	運動後>運動前	AST、CK、LDH、ミオグロビン、乳酸、無機リン、クレアチニン、白血球、BNP
	体 位	立位>臥位	総蛋白、アルブミン、総コレステロール、中性脂肪、コリンエステラーゼ、血清鉄、その他高分子成分
	日内変動	朝>夜	ACTH、コルチゾール、血清鉄
		昼>夜	総蛋白、尿酸、カリウム
		夜>昼	尿素窒素、アミラーゼ
	日差変動	大きいもの	中性脂肪、ビリルビン、血清鉄
	妊 娠	上昇	アルカリフォスファターゼ(胎盤型)、凝固因子、甲状腺ホルモン、脂質、銅、赤沈、フィブリノゲン、CRP
		低下	総蛋白、アルブミン、ヘモグロビン、赤血球、血清鉄、フェリチン
	そ の 他	上昇から低下	性周期、季節差

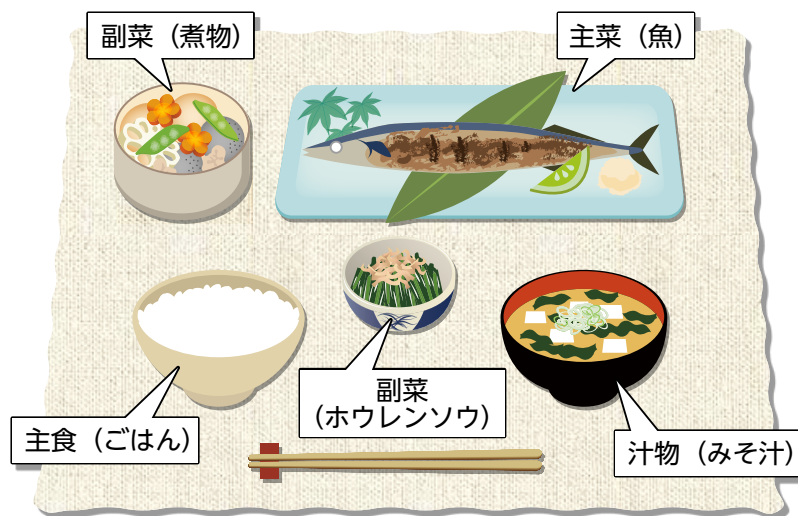


「フードファディズム」という言葉をご存知ですか？聞き慣れない言葉なので、ご存知でない方も多いでしょう。フードファディズムとは、食べ物や栄養が健康に与える影響を、熱狂的、あるいは過大に信じることや、評価することを言います。

テレビの健康番組で、ある特定の食品が取り上げられ、それを食べると、「認知症にならない」や「痩せられる」、「がんにならない」と放送された翌日にスーパーの売り場からその食品が売り切れになってしまうことがあります。皆さんも経験があるのではないのでしょうか。

このような食品は、医学的に効果が立証されているわけではなく、テレビや本の情報のみを鵜呑みにし、食生活に極端に反映させるのは、一定の栄養素の過剰や欠乏などが起こり、かえって健康を害する恐れがあります。

食品はこれを食べれば「健康になれる！」や、これを食べると「不健康になる。」といったマジカルフードや悪魔の食品はありません。食事は日々の積み重ね、バランスよく食べることが大切です。



主食

ご飯、パン、麺類などの炭水化物

主菜

肉、魚、卵、豆腐などのタンパク質食品

副菜

野菜、海藻など食物繊維の多い食品

バランスよくというと難しく思う方もいるかと思いますが、毎食、主食、主菜、副菜をそろえると、バランスが整った食事になります。

食事のことで
困ったら！



入院・外来栄養食事指導 平日9:00～16:30（初回概ね30分）

栄養指導を希望される方は担当医師にお伝えください

栄養食事指導外来と栄養サポート外来について

栄養管理室・NSTでは地域医療連携および在宅医療の推進のために、内科および外科医師と連携し2つの外来を実施しております。

食事・栄養療法の必要な患者さんがいる場合には、状態に応じて下記外来のどちらかを選択し、ご紹介いただきますようお願いいたします。

どちらの外来を受診すべきかわからない時は、お申込みの前に地域医療支援・連携センターまたは栄養管理室へご相談ください。

【栄養食事指導外来】

- 火曜日 午後13時30分～15時30分
- 総合診療科・内科を受診
- 対象：生活習慣病(糖尿病、腎臓病 等)で食事療法が必要な方

血糖値と血圧が高いけど、食事をどうしたらよいのかわからない。

血液検査の結果で気になる項目と食事の関係について聞いてみたい。



医師の診察後に管理栄養士が栄養食事指導を実施し、食生活改善のアドバイスをおこないます。

【栄養サポート外来】

- 木曜日 午前9時00分～12時00分
- 外科(消化器)を受診
- 対象：体重減少、食欲不振、栄養障害、摂食嚥下障害、手術後等の問題のある方

食道の手術後で体重が減り、体力も落ちている。栄養状態が心配。

食べ物を食べるときにむせる事が多くなった。食べる量が減ってきていて心配。



身体・筋力測定、体組成測定、採血結果等をもとに、多職種(医師・看護師・管理栄養士 等)で栄養評価・栄養診断をおこない、適切な栄養療法を実施します。

予約方法

地域医療支援・連携センター (医療機関専用ダイヤル：TEL 027-322-5835、FAX 027-322-5925) へお問い合わせのうえ、事前予約をお願いいたします。

栄養外来に関しては、当院ホームページ下部の「**地域医療連携 栄養食事指導外来**」からも事前予約申請書および診療情報提供書のダウンロードが可能です。



紹介元医療機関から当院受診までの流れ

紹介元医療機関
(かかりつけ医)



TEL又はFAX



地域医療支援・
連携センター事務

TEL/FAXを確認後に、当院からかかりつけ医へ連絡し来院希望日を確認

医師紹介 コーナー

当センターの
医師を
紹介します!



初めまして。産婦人科の田村美樹と申します。

出身は前橋市で、市内の高校を卒業後、祖父母が新潟にいたこともあり大学時代は新潟で過ごしました。卒業後、地元に戻ってきてからも前橋市での勤務が続いていたため、今年は生まれて初めての高崎ライフを過ごしています。日々の診療では新たな命の誕生から悪性腫瘍の治療まで関わらせて頂いており、やりがいを感じながら充実した毎日を過ごしています。とはいえハードな一日を終えた時には疲労困憊となることもありますが、かわいい赤ちゃんの笑顔や、患者さんの優しさに元気をもらっています。

趣味は美味しいものを食べること（時々お酒も）、温泉や海外旅行に行くことでしょうか。また最近はなかなか機会がありませんが、学生時代はテニス部に所属していました。

こんな私ですが、今後も患者さんに寄り添ったより良い診療を心がけ、日々精進して参りたいと思います。どうぞよろしくお願い申し上げます。



●産婦人科

たむら みき
田村 美樹

はじめまして。2019年4月から高崎総合医療センター 消化器内科で勤務させていただいております相原幸祐と申します。

前橋赤十字病院で初期研修後、群馬大学医学部附属病院 消化器内科に入局しました。

学生時代は野球、バレーボール、空手道を経験してきました。体を動かす機会が多かったため体は頑丈です。身を粉にして働く所存です。

不慣れな点多々ありますが、日々病院スタッフに支えていただき、地域の先生方と連携をとらせていただき診療にあたっております。

地域の皆様に寄り添い、期待にそえる医療を提供できるように精進いたします。

何卒よろしくお願い申し上げます。



●消化器内科

あいはら こうすけ
相原 幸祐

地域医療連携登録医 のご紹介

地域医療連携登録医の皆さまと
パートナーシップを組んで診療に取り組んでいます。

フォルテたかさきモール歯科

院長あいさつ

当医院は保険診療はもちろん、インプラント、矯正、ホワイトニング、セラミックなどの保険外診療も行っています。地域のかかりつけになれるように日々研鑽を積み、診療に励んで参りたいと思います。末永く宜しくお願い致します。



フォルテたかさきモール歯科
院長
櫻井 康博

診療科・病院案内

歯科・小児歯科・矯正歯科・歯科口腔外科

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
9:00~20:00	●	●	●	●	／	●	●

群馬県高崎市下豊岡町893-1 ベルクフォルテ高崎敷地内
TEL:027-388-0630

土日祝日も20時まで診療\お口のお悩み何でもご相談ください! /
お昼休み無し、各保険診療、急患随時対応、バリアフリー、キッズルーム、
歯科用CT・セファログラム、光機能化インプラント、ホワイトニング、
マウスピース矯正、ワイヤー矯正、予防歯科



静内科

院長あいさつ

環状線から北に1km。イオン高崎の通りのクリニックです。10年以上、高崎総合医療センターの心臓血管内科の医師として診療を行ってまいりました。

わかりやすい説明で納得して治療できるようサポートいたします。



静内科
院長
静 毅人

診療科・病院案内

内科・心臓血管内科・人間ドック

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
午前(7:30~12:30)	●	●	●	●	●	●	／
午後(17:00~19:30)	●	／	●	／	●	／	／

群馬県高崎市小八木町799-1 TEL:027-370-0777

一般内科診療(かぜ症候群、花粉症、インフル予防接種)。高血圧・
糖尿病・脂質異常症・高尿酸血症、禁煙治療、睡眠時無呼吸症候群。
心臓・血管・肺・脳のCT精密検査。心臓ドック。
当日院内採血が充実しています。



セカンドオピニオンのご案内

当センターではセカンドオピニオン外来を
実施しております。
概要につきましては以下のとおりです。



対象患者さん

- 現在当センター以外の医療機関で診療を受けている患者さん、ご家族
- 現在の主治医（他医療機関）の診断及び治療方針について、当センター医師に参考意見を求め、患者さんご本人が自らの疾患をより理解し適切な診療を選択する等の為に、セカンドオピニオン外来の活用を望む方
- 原則として主治医（他医療機関）からセカンドオピニオンを目的とした紹介状及びフィルム等の検査資料を当院に提供可能な患者さん、ご家族であることを要します（主治医にセカンドオピニオンを受けるための紹介状等をお願いすれば対応してもらえます）
- 相談者をご家族の場合は、原則として患者さんの同意を得た場合といたします

実施診療科

【各科の専門医が対応いたします】

内科、精神科、呼吸器内科、消化器内科、心臓血管内科、小児科、外科
乳腺・内分泌外科、心臓血管外科、脳神経外科、呼吸器外科、産婦人科
泌尿器科、眼科、放射線診断科、放射線治療科、歯科口腔外科



予約方法

完全予約制 代表電話：027-322-5901

※代表にお電話を頂き、『セカンドオピニオン係』とお申し付け下さい

【受付時間】 月曜～金曜 8時30分～17時の間

※精神科の受付時間は 月曜～金曜 8時30分～12時迄 となります

※事前にご予約電話を受け付け、担当専門医と日程調整を行った後に折り返し当センターより連絡させていただきます

外来時間

セカンドオピニオン外来時間（診療科によって曜日は異なります）

月曜～金曜 13時30分から15時30分の間で調整

費用

30分以内 5,500円(消費税込み)

30分以上 11,000円(消費税込み)

セカンドオピニオンとは

セカンドオピニオンとは現在の自分の病状や治療方針について他の医師の意見を求めることをいいます。医療が進歩してさまざまな治療法が生まれています。

その結果、医師によって病気に対する考え方が違うことや、病院によって医療技術や診療の質に差があることも考えられます。治療法について具体的な比較ができ、より適した治療法を患者さん自身が選択することができます。

当センターでは、よりよい治療法を患者さん自身が選択できるように、セカンドオピニオンを積極的にお勧めしております。

セカンドオピニオン 外来担当表

科 名	医師名	専 門	曜 日
内 科	佐 藤 正 通	内科全般、血液内科	火
精 神 科	井 田 逸 朗	がんのメンタルヘルス	木
呼 吸 器 内 科	茂 木 充	呼吸器全般	金
消 化 器 内 科	工 藤 智 洋	食道、胃、大腸	木
	長 沼 篤	消化器病一般、肝臓病	木
心 臓 血 管 内 科	広 井 知 歳	狭心症・心筋梗塞の治療（カテーテル治療）	金
	太 田 昌 樹	不整脈一般	水
小 児 科	五十嵐 恒雄	小児科全般・未熟児・新生児	水
外 科	小 川 哲 史	消化器外科全般、特に悪性腫瘍の手術	木
	坂 元 一 郎	消化器外科全般	水
	塚 越 浩 志	大腸	水
乳腺・内分泌外科	鯉 淵 幸 生	乳癌全般・甲状腺外科	第1・3・5週 金（午前）
心 臓 血 管 外 科	高 橋 徹	心臓血管の外科治療	水、木、金
脳 神 経 外 科	栗 原 秀 行	脳・脊髄腫瘍、脳神経外科全般	火
	笹 口 修 男	脳血管障害	木
呼 吸 器 外 科	菅 野 雅 之	肺癌、縦隔腫瘍、呼吸器外科全般	木
産 婦 人 科	伊 藤 郁 朗	婦人科腫瘍	月、火、金
泌 尿 器 科	井 上 雅 晴	泌尿器科全般	火
眼 科	土 屋 明	眼科全般（眼腫瘍を除く）	水、木
放 射 線 診 断 科	根 岸 幾	画像診断CT・MR中心	木
	佐 藤 洋 一	画像診断CT・MR中心	火
放 射 線 治 療 科	北 本 佳 住	悪性疾患の放射線治療	金
歯 科 口 腔 外 科	稲 川 元 明	口腔顔面痛	火、水、木、金
	薬 師 寺 孝	口腔外科全般、顎変形症、インプラント	月、火、木、金

外来診療担当表

当センターは、地域医療支援病院として運営しております。
かかりつけ医の先生からの紹介状をご持参願います。

	月	火	水	木	金
総合診療科・内科	佐藤 正 通 飯塚 堯	合田 史 真下 大 和	合田 史	佐藤 正 通 合田 史 午後：予約専門外来 飯塚 堯	佐藤 正 通 真下 大 和
栄 養 外 来		佐藤 正 通 午後			
内分泌代謝内科	渋沢 信 行	(小澤 厚 志)	武藤 壮 平 (道又 敏 夫)	渋沢 信 行 午後	武藤 壮 平
神 経 内 科	(池田 雅 美)	古田 夏 海	藤田 智	(山内 茉莉莉)	古田 夏 海
呼 吸 器 内 科	茂木 充 午前 佐藤 麻 里	(竹村 仁 男) 午前 大島 一 真 午前	大島 一 真 増淵 裕 朗 午前	茂木 充 増淵 裕 朗	佐藤 麻 里 (大貫 祐 史)
消 化 器 内 科	長沼 篤 安岡 秀 敏 上原 早 苗 午後 綿貫 雄 太	工藤 智 洋 星野 崇 鈴木 悠 平 綿貫 雄 太	安岡 秀 敏 増田 智 之 石原 弘 午後 (蘇原 直 人) 午前	長沼 篤 増田 智 之 鈴木 悠 平 午後 柴崎 経理奈 午後	工藤 智 洋 星野 崇 相原 幸 祐 (岡野 祐 大) 午後
内 視 鏡 検 査	星野 / 増田	安岡 / 増田	工藤 / 綿貫	工藤 / 上原	長沼 / 鈴木 / 岡野
心 臓 血 管 内 科 (循環器)	太田 昌 樹 午前：通常 / 午後：不整脈外来 村田 智 行	小林 洋 明 高橋 伸 弥 (金澤 紀 雄) 再来	広井 知 歳 佐野 幸 恵 太田 昌 樹 不整脈外来午後	福田 延 昭 (金澤 紀 雄) 再来 湯浅 直 紀	小林 紘 生 午前：通常 / 午後：不整脈外来 太田 昌 樹 ペースメーカー外来、第2・4週午後 柴田 悟
新患外来 (午前)	高橋 伸 弥	福田 延 昭	村田 智 行	佐野 幸 恵	小林 洋 明
精 神 科	井田 逸 朗 村山 侑 里	井田 逸 朗 村山 侑 里	井田 逸 朗 村山 侑 里	井田 逸 朗	井田 逸 朗 村山 侑 里
小 児 科	五十嵐 恒 雄 午前 徳永 真 理 午後 内田 亨 八木 龍 介 午後	五十嵐 恒 雄 午後 倉田 加奈子 午前 八木 龍 介 (神尾 綾 乃) 第2・4週午後	五十嵐 恒 雄 午前 倉田 加奈子 午後 佐藤 幸 一 郎 午後 <乳児健診> 午前	倉田 加奈子 午前 徳永 真 理 午後 小笠原 聡	五十嵐 恒 雄 午後 徳永 真 理 午前 佐藤 幸 一 郎 第2・4週午後 (西澤 拓 哉)
小 児 外 科		(西 明・高澤 慎也) 第2・4週午後			
外 科 (消化器)	坂元 一 郎 田中 成 岳	小川 哲 史 <手術日>	榎田 泰 明 田中 寛	小川 哲 史 平井 圭太郎 小川 哲 史 小川祐介 (栄養士)	塚越 浩 志 星野 万里江
栄養サポート外来					
ス ト ー マ 外 来			第2・4週目午後：予約	第1・3・5週目午後：予約	
泌 尿 器 科	井上 雅 晴	栗原 聰 太	(青木 雅 典)	井上 雅 晴	栗原 聰 太

1 外来診療 受付時間

8:30～11:00迄 (予約の場合は最終予約時間まで)

※再来受付機は8:00から受付しています

- 紹介状をお持ちの方、紹介事前予約の方は、1番：紹介状をお持ちの方・地域医療連携窓口で受け付けております。
- 当センター受診にはかかりつけ医の先生からの紹介状をご持参ください。紹介状をお持ちでない場合、診察をお受けできない場合や、長時間お待ちいただく場合がございます。

2 休診日

土、日、祝日、年末年始

- 学会等により、休診または医師が交替する場合があります。院内掲示をご覧ください。



地域医療支援・連携センターから地域の先生へお願い

当センターへの紹介の際は、
地域医療支援・連携センターを通した
事前予約にご協力下さい。

() の医師は非常勤です。

	月	火	水	木	金
緩和医療科	田中俊行	田中俊行	田中俊行		田中俊行
乳腺・内分泌外科	鯉淵幸生	鯉淵幸生	鯉淵幸生	交代制／(中澤祐子) 午前、予約 午後、予約	鯉淵幸生 第2・4週目
	荻野美里	高他大輔	荻野美里		高他大輔
			高他大輔 再診予約		荻野美里 第1・3・5週目
心臓血管外科	<手術日>		高橋 徹	小谷野 哲也	茂原 淳
呼吸器外科	<手術日>	菅野雅之 高坂貴行 午後	<手術日>	菅野雅之 高坂貴行	<手術日>
整形外科	新井 厚	大澤敏久	荒 毅	新井 厚	大澤敏久
	荒 毅	(柳澤信明) 午後	信太晃祐	<手術日>	齋藤健一
	信太晃祐	齋藤健一	猪俣和弘		一ノ瀬 剛
		一ノ瀬 剛	山田哲也 午後		
形成外科	(古賀康史) 午後				(田村健・竹内誠也) 午後 交代制
脳神経外科	島内寛也	栗原秀行 午前	<手術日>	笹口修男	佐藤晃之
皮膚科		(井上千鶴)			(須藤麻梨子)
産婦人科	伊藤郁朗	伊藤郁朗	(西村俊夫) <産後検診>	満下淳地	伊藤郁朗 第2週は紹介・予約
	満下淳地	青木 宏	青木瑛子 午前	(金井真理)	青木 宏
	永井あや	田村美樹		(森田晶人)	永井あや
	青木瑛子 午後				
眼科	土屋 明 紹介・予約	土屋 明	土屋 明	土屋 明	土屋 明
眼形成眼窩外科	笠井健一郎 <手術日>	笠井健一郎 <手術日>	笠井健一郎	笠井健一郎 <手術日>	笠井健一郎
耳鼻いんこう科	高橋克昌		<手術日>	高橋克昌	高橋克昌
放射線治療科	北本佳住	北本佳住	大高 建	北本佳住	北本佳住
	大高 建	大高 建		大高 建	大高 建
歯科口腔外科	柴野正康	<手術日>	前山恵里	薬師寺 孝	<手術日>
歯科(歯科麻酔) 摂食嚥下・口腔ケア外来	稲川元明 第1・3・5週のみ	稲川元明	稲川元明	稲川元明	稲川元明
	木村将典	倉持真理子	木村将典	木村将典	倉持真理子
	倉持真理子	(荒井亮・辻野啓一郎) 第2・4週のみ	倉持真理子		

(令和元年12月1日現在)

3

予約について

(医療機関からの
紹介患者事前予約)

消化器内科、産婦人科、形成外科、眼形成眼窩外科、整形外科、神経内科、放射線治療科、歯科口腔外科、歯科(歯科麻酔)、呼吸器内科、耳鼻いんこう科は紹介事前予約制となります

- 分娩希望についてはこの限りではありません。
- 精神科も完全予約制となりますが、通常の予約方法と異なります。地域医療支援・連携センターにお尋ねください。

FAXの予約対応を平日は18:30まで行っています

- FAXは24時間受け付けています。

土曜日も予約受付を行っています(8:30-17:15)

4

連絡先

高崎総合医療センター内 地域医療支援・連携センター
医療機関専用ダイヤル:027-322-5835 FAX:027-322-5925

院長室だより

vol.53

報道・言論の自由

明治の大日本帝国憲法は、公共の利益を害しない限り報道・言論の自由を認めています。何が公共の利益かということは、解釈次第でいくらでも適用範囲が広がられます。

しかし、今の憲法は報道・言論の自由の制限である検閲を無条件に禁止しています。また多数決で検閲が許されるわけではありません。

戦時中のマスメディアはだんだん右へ寄って、1930年代の終わりに新聞がとっていた位置は、右寄りの一つの方向に流れて、東条政権になり太平洋戦争に突入します。

報道の自由は著しく制限され、政府の御用新聞になり国民全体を全く間違った方向へ導いてしまいました。

本当に大事なものは報道の自由です。政治権力が報道機関の自由に、強い圧力を加えるときにそれに抵抗する姿勢が大事です。

アメリカのニクソン政権時代のアグニュー副大統領が「ワシントン・ポスト」の報道に偏向があると攻撃し、「ワシントン・ポスト」は勇敢に抵抗して、対立がエスカレートし、ついにアグニューは、社会に害のある新聞ならば発行停止命令を下すというところまでいきました。

「ワシントン・ポスト」は新聞報道の自由を掲げて闘い、結局、言論弾圧をするような副大統領は辞任させるということで、「ニューヨーク・タイムズ」「ボストン・グローブ」「クリスチャン・サイエンス・モニター」など、他の有力な新聞はみんな「ワシントン・ポスト」を応援し、ABC、CBS、NBCなどTVの3大ネットワークも応援しました。

その結果報道機関が勝ち、副大統領は辞任せざるをえなくなりました。注目すべきは、報道の自由を守るために、みんなが応援したということです。「ワシントン・ポスト」が発行禁止になればうちの新聞の発行部数が増えるというあさましい態度とは正反対でした。

どうしてそういうことが可能であるかという背景には、アメリカの市民の心の中の常識として新聞報道の自由というものが入っているということなのです。

日本の事を考えてみると、もし「朝日新聞」が政治権力から弾圧を受けた時に、「産経新聞」が「朝日新聞」の応援に回るということは、考えにくいことだと思います。

報道内容・言論内容にかかわらず、表現の自由を守るということは憲法で保障された権利であるということを日本国民1人1人が認識しなければなりません。



病院長 石原 弘

INFORMATION

行事などのお知らせ

お気軽にご参加ください



●第225回 市民健康医学講座
『タバコの健康被害』

日時：2020年1月15日(水) 17時30分～

講師：呼吸器内科部長 茂木 充

場所：当センター2階 大会議室

対象：一般の方 医療従事者

●第12回 看護・介護に関する勉強会
『認知症ケアについての事例検討
～安心して地域での暮らしを続ける
ためにできること～』

日時：2020年1月17日(金) 18時30分～20時

場所：当センター2階 大会議室

対象：医療・介護に携わる多職種（申し込み必要）

●地域連携カンサーボード

日時：2020年1月30日(木) 18時～

場所：当センター2階 大会議室

対象：医師等医療従事者（申し込み不要）

●CPC（臨床病理示説会）

日時：2020年1月22日(水) 17時45分～

場所：当センター2階 大会議室

対象：医師

編集室より

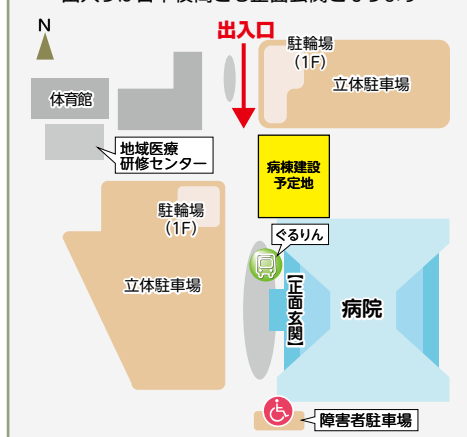
登録医の先生方からのご寄稿・ご意見をお待ちしております。地域医療支援・連携センターまでご連絡をお願い致します。

電話 027-322-5835

（医療機関専用ダイヤル）

高崎総合医療センター案内図

出入りは日中夜間とも正面玄関となります



独立行政法人・国立病院機構

高崎総合医療センター